

## 輝く学生応援アワード2023 表彰式の実施

京都市では、京都のまちの活性化につながる活動を行う学生を総合的にサポートする「輝く学生応援プロジェクト」に取り組んでいます。

本プロジェクトの一環として、京都市内をフィールドにいきいきと活動する大学生の皆さんを、地域や企業の方々に知っていただき、応援するために「輝く学生応援アワード」を実施しています。

この度、令和5年度の本アワードの受賞団体8団体の表彰式を実施します。

### 1 表彰式について

(1) 日 時 令和5年12月5日(火) 午前10時～午前10時30分

(2) 場 所 京都市役所本庁舎 4階 正庁の間

(3) 出席者

- 受賞団体 8団体
- 輝く学生応援アワード選定委員
  - (委員長) 大石 尚子 龍谷大学政策学部 教授
  - (副委員長) 大柳 淳 一般社団法人京都中小企業家同友会 理事/社員共育・求人委員会委員長
  - (委員) 谷 慶子 立命館大学映像学部 准教授
  - (同) 竹田 明子 公益財団法人京都市ユースサービス協会 事業担当チーフ
  - (同) 小泉 進 公益財団法人大学コンソーシアム京都 副事務局長
- 京都市
  - 門川 大作 京都市長

(4) 次 第

- 開会
- 輝く学生応援アワードの紹介
- 講評(大石委員長)
- 表彰状の授与
- 市長挨拶
- 記念写真撮影
- 閉会

## 2 受賞団体について

### (1) 特別賞及び入賞

※特別賞：選定委員会の審査（プレゼンテーション及び質疑応答）において、評価が高かった団体が活動内容にちなんだ名称の特別賞を受賞。

No	団体名・プロジェクト名	活動概要・評価された点
<b>特別賞「みんなの心に留まりました」</b>		
1	<p>こころ停留所</p> <p>こころ停留所の定期会</p>	<p>【活動概要】</p> <p>不登校児のきょうだいを支援する活動。年々増加している不登校児は注目されているが、そのきょうだいへの支援は届きにくい現状であり、同じ経験を持つ方同士の対面での話し合いの場を提供する。</p> <p>【評価された点】</p> <p>小規模ながらも、見過ごされがちな不登校児のきょうだいに注目した活動を展開されている点が評価された。</p>
<b>特別賞「わくわくの数珠つなぎ」</b>		
2	<p>えでゆんか edunka</p> <p>edunka × 地藏盆</p> <p>オーディエンス賞 同時受賞</p>	<p>【活動概要】</p> <p>地藏盆を開催する地域が減ってきたという話を地元の方々から聞き、コロナ禍で奪われた子どもたちの笑顔を取り戻すべく地域の方との協働により地藏盆で企画を考案し、実施。</p> <p>【評価された点】</p> <p>「やりたいことが見つからない」という悩みをもつ学生を巻き込み、わくわくする取組を実施しようとするチャレンジ性が評価された。</p>
<b>特別賞「その愛、染み込みました」</b>		
3	<p>レモネードスタンド<sup>ふいりあ</sup>Philia</p> <p>レモネードスタンドPhilia</p>	<p>【活動概要】</p> <p>教会や高校などでレモネードスタンドを出店し、オリジナルトートバックやTシャツの販売もあわせて行うことで、寄付金を集め、小児がん患者や家族を支援する。</p> <p>【評価された点】</p> <p>代表者の実体験に基づき、その思いに共感する仲間たちと思いのこもった活動を展開されている点が評価された。</p>
<b>入賞</b>		
4	<p>Shinmachi Activate Project (SAP)</p> <p>あらゆる場所で行う キャンドルナイト活動！</p>	<p>【活動概要】</p> <p>学内外でのキャンドルアートイベントを開催するとともに、清掃活動をはじめとした地域活動にも積極的に参加。</p> <p>【評価された点】</p> <p>大人数の学生をしっかりと束ね、精力的に大規模イベントや他所とのコラボ等を実施されている点が評価された。</p>
5	<p>京都学生広報部</p> <p>Webサイト『コトカレ』における 「京都の魅力」発信活動</p>	<p>【活動概要】</p> <p>大学生の視点から、Webサイト「コトカレ」を通じて、京都の魅力を全国の中高生に発信し、「大学のまち京都・学生のまち京都」を盛り上げるPR活動を実施。</p> <p>【評価された点】</p> <p>過去に「コトカレ」を見た高校生が今の活動の中心になるなど、活動が世代を超えて受け継がれている点が評価された。</p>
6	<p>京都産業大学鈴木ゼミ 三条大橋チーム</p> <p>三条大橋プロジェクト</p>	<p>【活動概要】</p> <p>鴨川にかかる三条大橋の補修・修景事業をPRするため、ポスター制作や小学生へのクリアファイル配布、展示会などを開催。</p> <p>【評価された点】</p> <p>大学生ならではの視点をもって継続的に三条大橋の魅力発信に取り組んでいる点が評価された。</p>

7	<p>京都産業大学 鈴木ゼミ 水の聖地チーム</p> <p>「水の聖地」プロジェクト</p>	<p>【活動概要】 「京都」と「水」の深い関わりを踏まえて、水の「聖地」を創り出すべく、錦市場や錦天満宮においてオリジナル朱印を制作するなど、水を用いたイベントを実施。</p> <p>【評価された点】 暮らしに欠かせない「水」をテーマとし、活動をきっかけに関係各所とのつながりの輪が広がっている点が評価された。</p>
8	<p>STUDY FOR TWO 同志社大学支部</p> <p>使い終えた大学教科書の回収・販売</p>	<p>【活動概要】 大学生が使い終えた教科書や参考書の寄付を募り、定価の半額以下で販売。そこで得た売上を用い、発展途上国の子どもたちの教育支援に充てる。</p> <p>【評価された点】 世界的な課題を自分ごととしてとらえ、積極的に活動している点が評価された。</p>

## (2) オーディエンス賞

団体名：edunka

(プロジェクト名：edunka × 地蔵盆)

<オーディエンス賞について>

プレゼンテーション出場者及びオーディエンス（以下3種類）が、最も応援したい1団体に投票し、得票数の多かった1団体が受賞。

対面参加型：当日会場にてプレゼンテーションを見て投票

オンライン参加型：当日オンラインでプレゼンテーションを見て（Zoomによる）投票

アーカイブ視聴型：後日、プレゼンテーションのアーカイブ映像を見て投票期間中に投票

(参考) これまでの審査経過

- 募集期間  
令和5年7月3日(月)～10月15日(日)午後3時
- 書類審査（一次審査）  
令和5年11月2日（木）
- プレゼンテーション（二次審査）  
令和5年11月19日(日)
- オーディエンス投票期間（アーカイブ視聴型）  
令和5年11月21日（火）～11月26日（日）午後12時（24時）

(参考 URL)

<https://www.kagayaku.st/プログラム案内/輝く学生応援アワード2023/>